

品種	作付面積	単収	地域の単収との差(地域の平均単収)
あきだわら	約10.3ha	644kg/10a	170kg/10a(474kg/10a) [※] <small>※作柄調整後の地域の平均単収</small>

【経営概況】

- 家族経営(本人と妻、息子2人、息子の妻の5人)
- 主食用米、飼料用米が主体、農閑期となる冬場に野菜(なばな)を栽培

【作付品目】

- 主食用米
ハツシモ、あいちのかおり、
みつひかり2003 50ha
- 飼料用米(種子用を含む)
あきだわら 10.3ha

【取組のきっかけ】

- 10年前から、米の需給調整の取り組みとして、飼料用米を生産している。主食用米と同じ機械利用と作期分散による効率的な作業を実施している。戦略作物助成、産地交付金により収益向上が図られている。

【取組概要】

- 飼料用米として岐阜県特認品種の「あきだわら」を区分管理方式で生産するほか、主食用品種の「あいちのかおり」、「みつひかり2003」を一括管理方式で生産している。
- 育苗～乾燥・調製まですべての作業を自家で行っており、作期の違う品種を組み合わせることによって、効率的な作業を行っている。
- 飼料用米の栽培にあたって、主食用米と差異のある肥培管理は行っていないが、飼料用米の収穫量は、土壌、気象状況等によって大きく左右されることから、ほ場ごとに土壌にあった品種を選定するほか、気象状況に合わせた肥培管理を行うことを心掛けている。
- 近年、実需者から飼料用米の増産要望があることから、主食用米の需要を見ながら取組拡大を検討している。また、翌年産から飼料用米(主食用品種)の交付金が見直されることから、飼料用米のすべてをあきだわらに切り替える予定である。

